

令和5年度における大阪府内のダイオキシン類環境調査結果の概要

大阪府及び府内の一部市^(※)では、ダイオキシン類対策特別措置法に基づき、一般環境中のダイオキシン類の常時監視を行っています。

(※) 府内の一部市：大阪市、堺市、豊中市、吹田市、高槻市、枚方市、八尾市、寝屋川市、東大阪市

また、これまでに環境基準を超過した河川について、その原因の特定や汚染範囲の確定などのために、大阪府等が追跡調査を行っています。

令和5年度に実施した常時監視及び追跡調査の結果の概要は以下のとおりです。

概 要

(1) 常時監視

- 大気 23 地点、河川水質 68 地点、河川底質 68 地点、海域水質・底質各 8 地点、地下水質 20 地点及び土壌 24 地点においてダイオキシン類の常時監視を行いました。
- 大気、河川底質、海域水質・底質、地下水質及び土壌では、調査した全ての地点で、環境基準を達成していました。河川水質では、1 地点（恩智川「三池橋」）のみで環境基準を超過していました。
- ダイオキシン類の常時監視を開始した平成 12 年度からの推移をみると、府内における大気中の濃度は大幅に改善した後横ばいで推移しており、河川水質・底質及び海域水質・底質中の濃度は緩やかに改善した後横ばいで推移しています。また、地下水質、土壌及び海域水質では、調査した 24 年間の全ての地点で環境基準を達成しました。
- 今後も常時監視を継続するとともに、環境基準を超過した地点については追跡調査を実施した上で、関係機関と連携して基準達成に向けた取組みを行っていきます。

(2) 追跡調査

- 過去の常時監視で環境基準を超過した 5 河川（三箇牧水路、左門殿川、寝屋川、恩智川、玉串川）で追跡調査を行いました。
 - ①三箇牧水路
 - ・平成 18 年度の底質除去工事後の状況を確認するために水質調査（5 地点）と底質調査（3 地点）を継続して実施。
 - ・令和 5 年度は、1 地点で水質と底質ともに環境基準を超過しましたが、底質除去工事前と比べて水質、底質ともに改善。
 - ②左門殿川
 - ・「辰巳橋」において、令和 3 年度の常時監視で底質の環境基準を超過したため、追跡調査を実施。
 - ・令和 5 年度は、環境基準の超過はありませんでした。
 - ③寝屋川
 - ・「住道大橋」において、令和 2 年度の常時監視で水質の環境基準を超過したため、その

周辺の追跡調査を実施。

- ・令和5年度は3地点で行い、環境基準の超過はありませんでした。

④恩智川

- ・「住道新橋」及び「三池橋」において、令和4年度の常時監視で水質の環境基準を超過したため、その周辺の追跡調査を実施。
- ・令和5年度は1地点で行い、環境基準の超過はありませんでしたが、「三池橋」における常時監視で、再び環境基準を超過しました。引き続き常時監視により経過の監視を行います。

⑤玉串川

- ・「JA グリーン大阪前」において、令和4年度の常時監視で水質の環境基準を超過したため、その周辺の追跡調査を実施。
 - ・令和5年度は5地点で行い、環境基準の超過はありませんでした。
- 今後も環境基準を超過した河川について水質及び底質の追跡調査を行い、原因究明や濃度変動の状況把握に努めるとともに、周辺事業所に対して排出基準遵守の指導を継続します。

1 常時監視調査結果

令和5年度のダイオキシン類常時監視結果及び常時監視を開始した平成12年度からの調査結果の推移は次のとおりです（表1、表2参照）。

(1) 大気〔環境基準 年間平均値 0.6 pg-TEQ/m³ 以下〕〔図1、図6、表3〕

令和5年度の大気中のダイオキシン類調査は23地点で実施しました。年間平均値で見ると、濃度範囲は0.0065~0.044 pg-TEQ/m³、平均値は0.016 pg-TEQ/m³であり、各地点とも環境基準を達成しました。

また、ダイオキシン類濃度(DXN濃度)の平均値の経年変化をみると、平成12年度の測定開始以降、大きく改善し、その後、徐々に改善は緩やかになり、近年は横ばいで推移しています。

なお、平成12年度から平成14年度の間では、一部の地点で環境基準を達成していませんでしたが、平成15年度以降は、全ての地点で環境基準を達成しています。

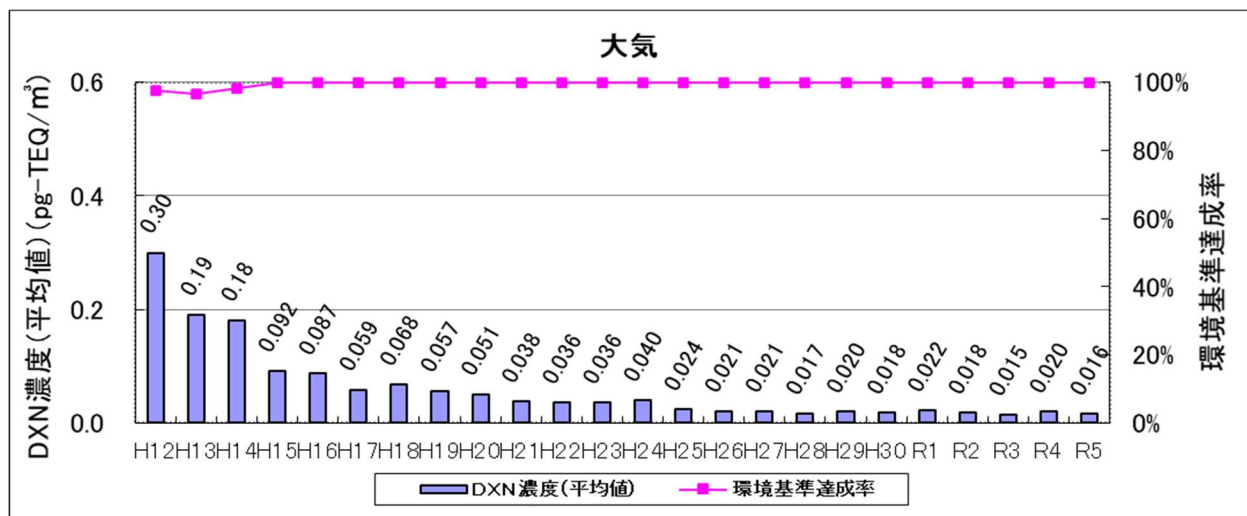


図1 ダイオキシン類常時監視結果の推移（大気）

(2) 公共用水域の水質〔環境基準 年間平均値 1 pg-TEQ/L 以下〕

ア 河川水質〔図2、図7、表4〕

令和5年度の河川水質の調査は68地点で実施しました。年間平均値で見ると、濃度範囲は0.037~1.5 pg-TEQ/L、平均値は0.23 pg-TEQ/Lであり、恩智川「三池橋」で環境基準を超過し、環境基準達成率は98.5%でした。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成12年度の測定開始以降、緩やかに改善し、近年は横ばいで推移しています。

なお、環境基準達成率は、平成12年度から平成19年度までは90%をやや下回っていましたが、平成20年度以降は90%以上で推移しています。

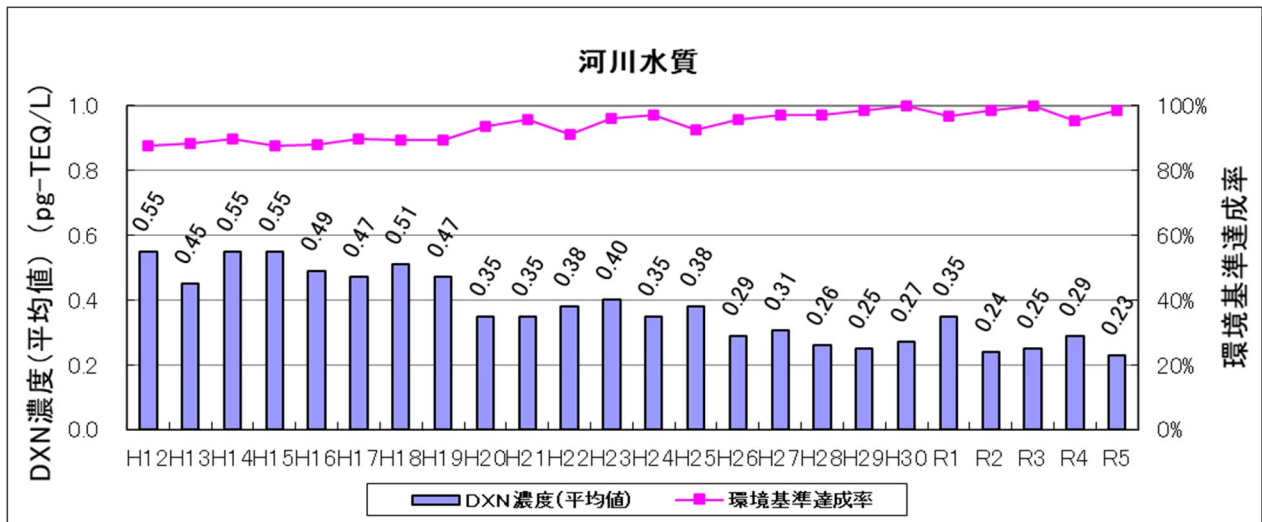


図2 ダイオキシン類常時監視結果の推移（河川水質）

イ 海域水質 [図3、図7、表5]

令和5年度の海域水質の調査は8地点で実施しました。年間平均値で見ると、濃度範囲は0.031～0.094 pg-TEQ/L、平均値は0.045 pg-TEQ/Lであり、各地点とも環境基準を達成しました。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成12年度の測定開始以降、緩やかに改善し、近年は横ばいで推移しています。

なお、平成12年度からは、全ての地点で環境基準を達成しています。

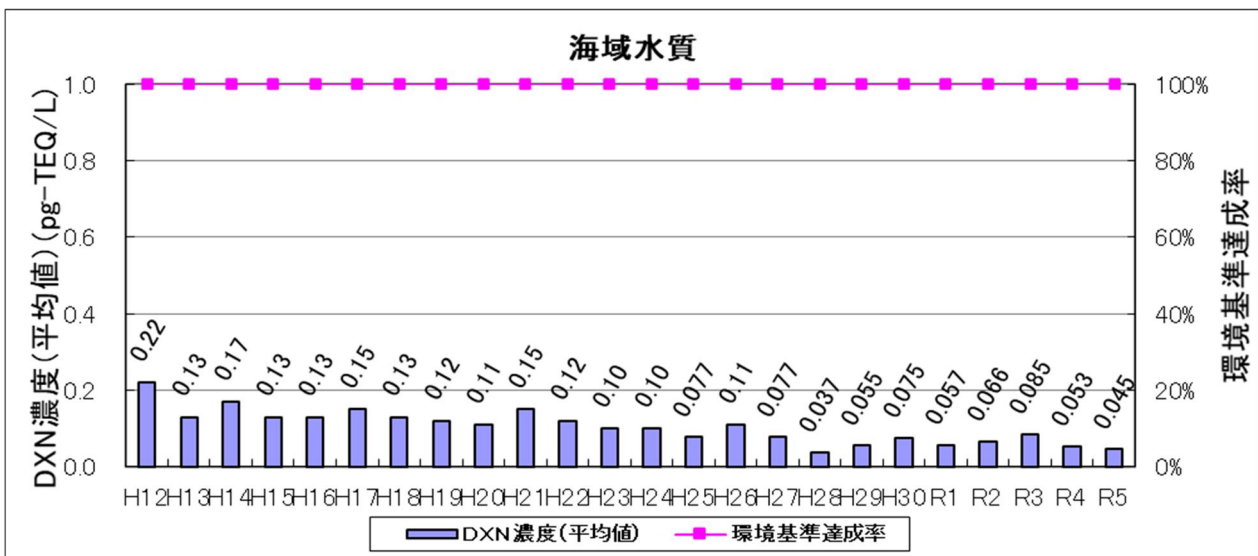


図3 ダイオキシン類常時監視結果の推移（海域水質）

(3) 公共用水域の底質〔環境基準 150 pg-TEQ/g 以下〕

ア 河川底質〔図4、図7、表4〕

令和5年度の河川底質の調査は68地点で実施しました。濃度範囲は0.21~120 pg-TEQ/g、平均値は14 pg-TEQ/gであり、各地点とも環境基準を達成しました。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成12年度の測定開始以降、緩やかに改善し、近年は横ばいで推移しています。

底質の環境基準は平成14年9月から適用されており、環境基準達成率は、平成14年度は83.6%でしたが、平成15年度以降は90%以上で推移しています。

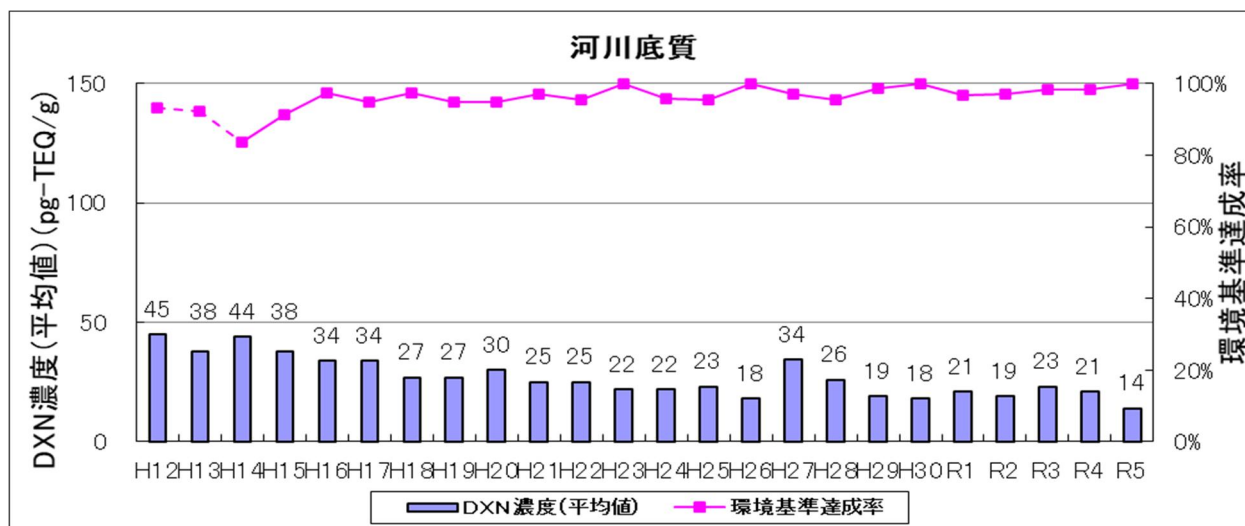


図4 ダイオキシン類常時監視結果の推移(河川底質)

イ 海域底質〔図5、図7、表5〕

令和5年度の海域底質の調査は8地点で実施しました。濃度範囲は1.1~130 pg-TEQ/g、平均値は24 pg-TEQ/gであり、各地点とも環境基準を達成しました。

また、ダイオキシン類濃度の平均値の経年変化をみると、平成12年度の測定開始以降、緩やかに改善し、近年は横ばいで推移しています。

底質の環境基準は平成14年9月から適用されており、平成16年度以降、全ての地点で環境基準を達成しています。

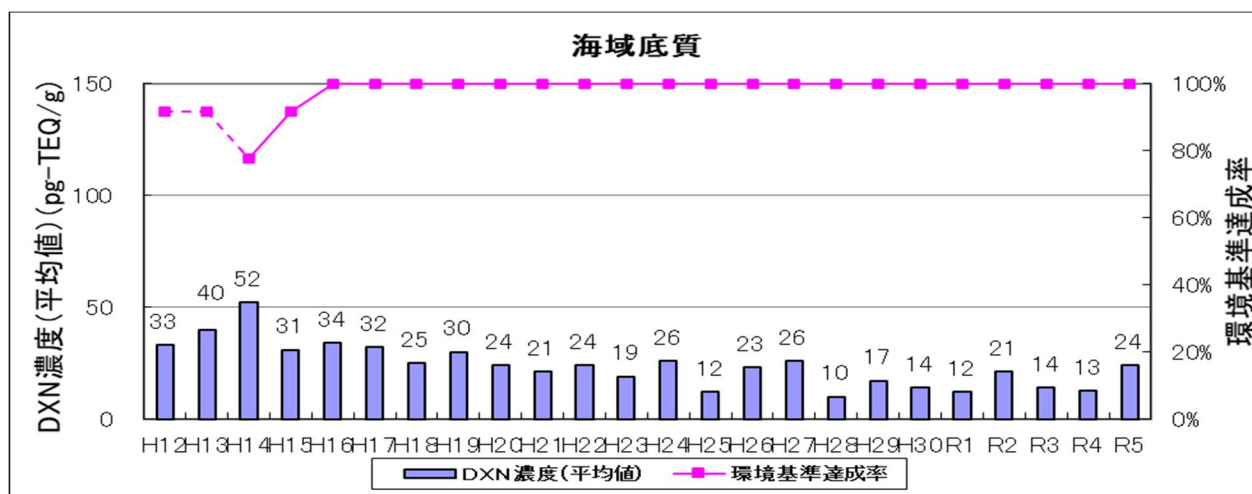


図5 ダイオキシン類常時監視結果の推移(海域底質)

(4) 地下水質〔環境基準 年間平均値 1 pg-TEQ/L 以下〕〔表 6〕

令和 5 年度の地下水質の調査は、20 地点で実施しました。濃度範囲は 0.026～0.15 pg-TEQ/L、平均値は 0.052 pg-TEQ/L であり、各地点とも環境基準を達成しました。

地下水質調査は、人口密度や工場等の立地状況を勘案し、概ね 5 年サイクルで同一調査区域を調査するローリング方式により毎年地点を変えて行っており、平成 12 年度から令和 5 年度の 24 年間にのべ 649 地点で調査を行った結果、全ての地点で環境基準を達成しています。

(5) 土壌〔環境基準 1,000 pg-TEQ/g 以下〕〔表 7〕

令和 5 年度の土壌調査は 24 地点で実施しました。濃度範囲は 0.0096～11 pg-TEQ/g、平均値は 1.5 pg-TEQ/g であり、各地点とも環境基準を達成しました。

土壌調査は人口密度や工場等の立地状況を勘案し、概ね 5 年サイクルで同一調査区域を調査するローリング方式により毎年地点を変えて行っており、平成 12 年度から令和 5 年度の 24 年間にのべ 1,046 地点で調査を行った結果、全ての地点で環境基準を達成しています。

(6) 環境基準超過地点に係る対応

ダイオキシン類対策特別措置法に基づく常時監視を開始した平成 12 年度から令和 5 年度の河川水質において、恩智川「三池橋」では 4 回、「住道新橋」では 11 回環境基準を超過しましたが、上水道水源としての利用もないことから、現時点で健康被害の恐れはないと考えられます。引き続き常時監視により経過を監視し、環境基準の達成に向けた取組みを進めていきます。

表 1 令和 5 年度ダイオキシン類常時監視結果一覧

調査項目 (単位)	調査地点数	環境基準値超過地点数	濃度範囲*		平均値*	環境基準
大気 (pg-TEQ/m ³)	23	0	0.0065	～ 0.044	0.016	0.6
公共用水域水質 (pg-TEQ/L)						
河川	68	1	0.037	～ 1.5	0.23	1
海域	8	0	0.031	～ 0.094	0.045	
公共用水域底質 (pg-TEQ/g)						
河川	68	0	0.21	～ 120	14	150
海域	8	0	1.1	～ 130	24	
地下水質 (pg-TEQ/L)	20	0	0.026	～ 0.15	0.052	1
土壌 (pg-TEQ/g)						
一般環境把握調査	24	0	0.0096	～ 11	1.5	1,000

※平均値は各地点の年間平均値の平均値であり、濃度範囲は年間平均値の最小値及び最大値である。

表2 ダイオキシン類年度別常時監視結果一覧

調査項目		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
大気	濃度範囲	0.073 ～0.64	0.036 ～1.7	0.030 ～0.84	0.029 ～0.35	0.029 ～0.28	0.016 ～0.15	0.016 ～0.19	0.017 ～0.17	0.022 ～0.13	0.014 ～0.096	0.012 ～0.098	0.0089 ～0.15	
	平均値	0.30	0.19	0.18	0.092	0.087	0.059	0.068	0.057	0.051	0.038	0.036	0.036	
	調査地点数	40	58	58	59	56	54	50	45	40	40	39	38	
	環境基準超過地点数	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	環境基準達成地点数	39	56	57	59	56	54	50	45	40	40	39	38	
環境基準達成率	97.5%	96.6%	98.3%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		
公共用水域 水質	河川	濃度範囲	0.051 ～2.9	0.064 ～3.9	0.069 ～2.7	0.059 ～7.0	0.041 ～2.4	0.028 ～4.1	0.054 ～3.2	0.046 ～2.0	0.023 ～1.5	0.033 ～2.4	0.055 ～1.6	0.064 ～3.4
		平均値	0.55	0.45	0.55	0.55	0.49	0.47	0.51	0.47	0.35	0.35	0.38	0.40
		調査地点数	73	76	76	72	74	77	75	75	79	66	66	73
		環境基準超過地点数	9	9	8	9	9	8	8	8	5	3	6	3
		環境基準達成地点数	64	67	68	63	65	69	67	67	74	63	60	70
	環境基準達成率	87.7%	88.2%	89.5%	87.5%	87.8%	89.6%	89.3%	89.3%	93.7%	95.5%	90.9%	95.9%	
	海域	濃度範囲	0.041 ～1.0	0.043 ～0.44	0.069 ～0.60	0.020 ～0.35	0.030 ～0.63	0.042 ～1.0	0.028 ～0.48	0.026 ～0.64	0.013 ～0.38	0.041 ～0.50	0.038 ～0.27	0.042 ～0.25
		平均値	0.22	0.13	0.17	0.13	0.13	0.15	0.13	0.12	0.11	0.15	0.12	0.10
		調査地点数	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
環境基準達成地点数		12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		
公共用水域 底質	河川	濃度範囲	0.18 ～510	0.11 ～320	0.17 ～370	0.16 ～370	0.12 ～540	0.22 ～510	0.23 ～300	0.18 ～250	0.10 ～500	0.21 ～160	0.12 ～190	0.17 ～150
		平均値	45	38	44	38	34	34	27	27	30	25	25	22
		調査地点数	72	78	73	70	74	77	75	75	79	66	66	73
		環境基準超過地点数	(5)	(6)	12	6	2	4	2	4	4	2	3	0
		環境基準達成地点数	(67)	(72)	61	64	72	73	73	71	75	64	63	73
	環境基準達成率	(93.1%)	(92.3%)	83.6%	91.4%	97.3%	94.8%	97.3%	94.7%	94.9%	97.0%	95.5%	100.0%	
	海域	濃度範囲	3.3 ～160	3.2 ～190	1.5 ～190	0.67 ～170	1.7 ～150	1.2 ～100	1.2 ～84	1.0 ～110	2.5 ～88	0.41 ～71	0.92 ～100	1.1 ～64
		平均値	33	40	52	31	34	32	25	30	24	21	24	19
		調査地点数	12	12	9	12	12	12	12	12	12	12	12	12
		環境基準超過地点数	(1)	(1)	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0
環境基準達成地点数		(11)	(11)	7	11	12	12	12	12	12	12	12	12	
環境基準達成率	(91.7%)	(91.7%)	77.8%	91.7%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		
調査項目		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
大気	濃度範囲	0.011 ～0.13	0.0084 ～0.058	0.0084 ～0.053	0.0086 ～0.048	0.0063 ～0.054	0.0054 ～0.045	0.0062 ～0.048	0.0073 ～0.077	0.0065 ～0.047	0.0071 ～0.039	0.0061 ～0.044	0.0065 ～0.044	
	平均値	0.040	0.024	0.021	0.021	0.017	0.020	0.018	0.022	0.018	0.015	0.020	0.016	
	調査地点数	39	39	36	32	32	28	29	29	29	27	25	23	
	環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	環境基準達成地点数	39	39	36	32	32	28	29	29	29	27	25	23	
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		
公共用水域 水質	河川	濃度範囲	0.031 ～2.5	0.064 ～2.1	0.022 ～1.2	0.036 ～1.8	0.021 ～1.2	0.045 ～1.1	0.054 ～0.81	0.047 ～3.5	0.055 ～1.1	0.039 ～0.83	0.046 ～1.6	0.037 ～1.5
		平均値	0.35	0.38	0.29	0.31	0.26	0.25	0.27	0.35	0.24	0.25	0.29	0.23
		調査地点数	70	67	71	67	67	71	63	63	69	63	64	68
		環境基準超過地点数	2	5	3	2	2	1	0	2	1	0	3	1
		環境基準達成地点数	68	62	68	65	65	70	63	61	68	63	61	67
	環境基準達成率	97.1%	92.5%	95.8%	97.0%	97.0%	98.6%	100%	96.8%	98.6%	100%	95.3%	98.5%	
	海域	濃度範囲	0.020 ～0.37	0.022 ～0.32	0.027 ～0.48	0.029 ～0.19	0.017 ～0.067	0.013 ～0.25	0.054 ～0.19	0.048 ～0.077	0.051 ～0.094	0.029 ～0.24	0.028 ～0.084	0.031 ～0.094
		平均値	0.10	0.077	0.11	0.077	0.037	0.055	0.075	0.057	0.066	0.085	0.053	0.045
		調査地点数	10	10	10	10	8	8	8	8	8	8	8	8
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
環境基準達成地点数		10	10	10	10	8	8	8	8	8	8	8	8	
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		
公共用水域 底質	河川	濃度範囲	0.14 ～190	0.13 ～190	0.12 ～150	0.074 ～1100	0.14 ～490	0.15 ～300	0.16 ～150	0.16 ～330	0.14 ～250	0.15 ～370	0.16 ～270	0.21 ～120
		平均値	22	23	18	34	26	19	18	21	19	23	21	14
		調査地点数	69	67	72	67	67	72	63	63	70	63	64	68
		環境基準超過地点数	3	3	0	2	3	1	0	2	2	1	1	0
		環境基準達成地点数	66	64	72	65	64	71	63	61	68	62	63	68
	環境基準達成率	95.7%	95.5%	100%	97.0%	95.5%	98.6%	100%	96.8%	97.1%	98.4%	98.4%	100%	
	海域	濃度範囲	0.44 ～100	1.0 ～36	1.8 ～79	0.66 ～100	0.34 ～17	3.5 ～63	1.3 ～45	1.8 ～20	0.84 ～100	2.3 ～45	1.7 ～24	1.1 ～130
		平均値	26	12	23	26	10	17	14	12	21	14	13	24
		調査地点数	10	10	10	10	8	8	8	8	8	8	8	8
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
環境基準達成地点数		10	10	10	10	8	8	8	8	8	8	8	8	
環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%		

(注) 底質の環境基準は平成14年9月から適用。
単位は大気 pg-TEQ/m³、水質 pg-TEQ/L、底質 pg-TEQ/g である。

調査項目		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	
地下水質	濃度範囲	0.00081 ～0.48	0.016 ～0.91	0.022 ～0.81	0.018 ～0.47	0.010 ～0.73	0.011 ～0.14	0.024 ～0.48	0.013 ～0.13	0.014 ～0.086	0.022 ～0.17	0.024 ～0.29	0.016 ～0.25	
	平均値	0.10	0.16	0.13	0.11	0.097	0.045	0.10	0.031	0.054	0.057	0.072	0.070	
	調査地点数	41	47	47	45	44	31	29	28	17	18	21	21	
	環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	環境基準達成地点数	41	47	47	45	44	31	29	28	17	18	21	21	
	環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
土壌	一般環境	濃度範囲	0.0023 ～56	0.0012 ～30	0.0010 ～26	0.00019 ～30	0.00012 ～42	0.0028 ～70	0.031 ～16	0.019 ～84	0.0049 ～24	0.037 ～10	0.0064 ～61	0.0021 ～28
		平均値	4.3	2.4	2.6	2.0	2.2	3.3	2.9	4.4	2.7	1.4	4.2	1.8
		調査地点数	109	118	87	98	94	48	37	37	27	26	31	29
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		環境基準達成地点数	109	118	87	98	94	48	37	37	27	26	31	29
		環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	発生源周辺	濃度範囲	9.8 ～92	0.11 ～50	0.0039 ～35	0.073 ～53	0.0036 ～5.0	-	-	-	-	-	-	-
		平均値	38	10	4.5	7.1	1.8	-	-	-	-	-	-	-
		調査地点数	3	31	31	16	10	-	-	-	-	-	-	-
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-	-
		環境基準達成地点数	3	31	31	16	10	-	-	-	-	-	-	-
		環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	-	-	-	-	-	-	-

調査項目		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
地下水質	濃度範囲	0.015 ～0.16	0.014 ～0.090	0.018 ～0.18	0.014 ～0.10	0.017 ～0.14	0.011 ～0.21	0.046 ～0.15	0.041 ～0.31	0.034 ～0.53	0.016 ～0.091	0.015 ～0.56	0.026 ～0.15	
	平均値	0.044	0.039	0.066	0.037	0.047	0.047	0.065	0.077	0.085	0.053	0.072	0.052	
	調査地点数	21	21	21	21	21	22	22	24	26	21	20	20	
	環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	環境基準達成地点数	21	21	21	21	21	22	22	24	26	21	20	20	
	環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	
土壌	一般環境	濃度範囲	0.00042 ～8.3	0.0048 ～110	0.0069 ～14	0.026 ～8.4	0.0012 ～5.8	0.021 ～8.3	0.0026 ～8.3	0	0.033 ～15	0.0013 ～25	0.019 ～4.0	0.0096 ～11
		平均値	1.8	6.4	1.3	1.1	1.0	1.4	0.93	2.1	1.9	2.8	0.78	1.5
		調査地点数	27	27	27	26	24	24	24	27	28	24	23	24
		環境基準超過地点数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		環境基準達成地点数	27	27	27	26	24	24	24	27	28	24	23	24
		環境基準達成率	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	発生源周辺	濃度範囲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		平均値	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		調査地点数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		環境基準超過地点数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		環境基準達成地点数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		環境基準達成率	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(注)単位は地下水質 pg-TEQ/L、土壌 pg-TEQ/g である。
 土壌（発生源周辺）については、平成16年度で調査が完了したため平成17年度以降については実施していない。

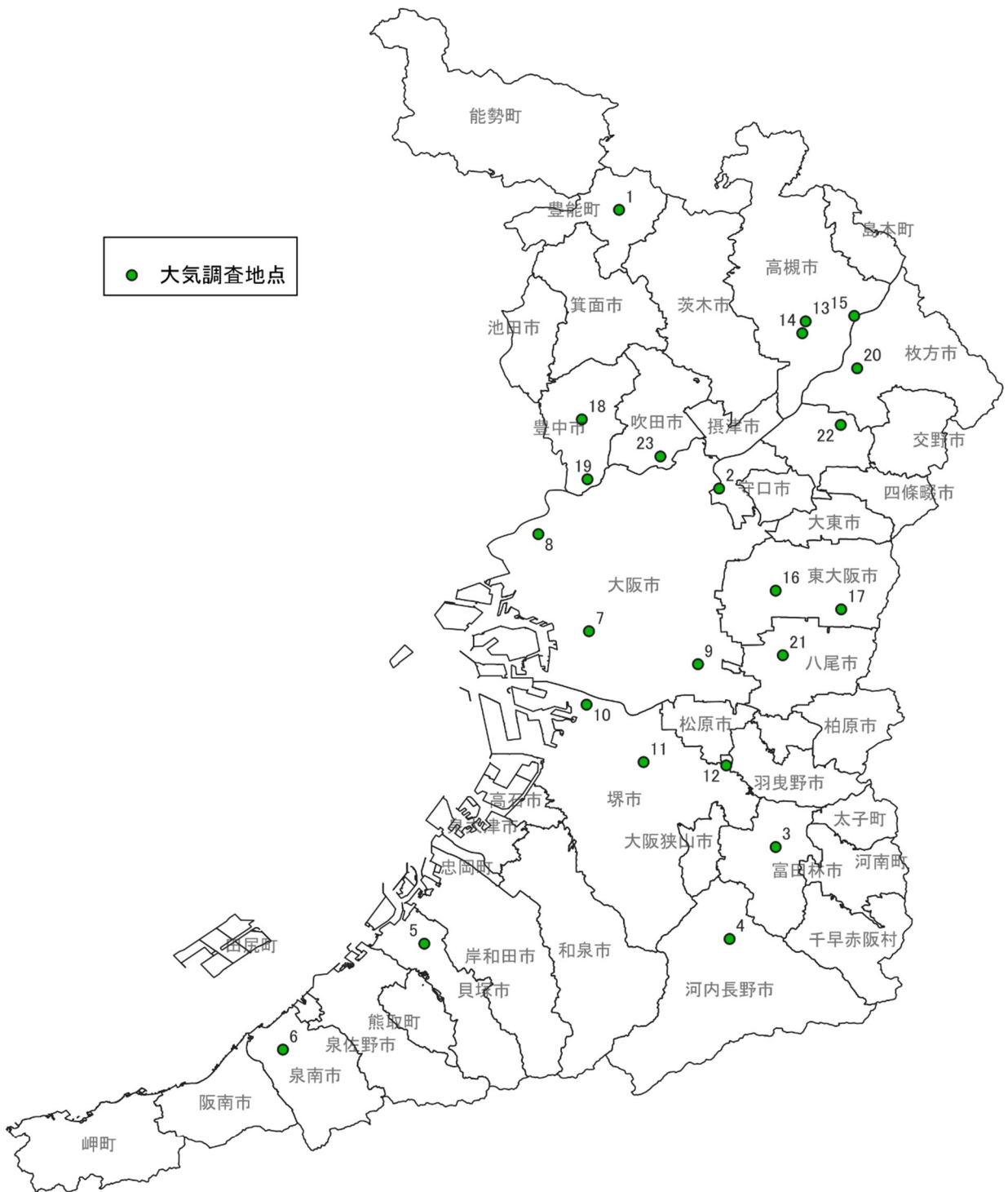


図6 令和5年度大気常時監視地点図

国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」をもとに大阪府が編集・加工

表3 令和5年度ダイオキシン類常時監視結果（大気）
 （環境基準：年間平均値 0.6 pg-TEQ/m³以下）

調査主体	測定地点名	測定値 (pg-TEQ/m ³)					図6 地点番号
		春季	夏季	秋季	冬季	年平均値	
大阪府	豊能町役場局	—	0.0067	—	0.0062	0.0065	1
	淀川工科高校局	—	0.013	—	0.011	0.012	2
	富田林市役所局	—	0.012	—	0.014	0.013	3
	三日市公民館局	—	0.0076	—	0.0098	0.0087	4
	貝塚市消防署局	—	0.010	—	0.017	0.014	5
	泉南市役所局	—	0.0081	—	0.013	0.011	6
大阪府	平尾小学校局	—	0.047	—	0.029	0.038	7
	淀中学校局	—	0.033	—	0.018	0.026	8
	摂陽中学校局	—	0.052	—	0.036	0.044	9
堺市	三宝局	—	0.034	—	0.024	0.029	10
	金岡南局	—	0.017	—	0.038	0.028	11
	美原丹上局	—	0.017	—	0.021	0.019	12
高槻市	高槻市役所局	0.0039	0.0045	0.0043	0.018	0.0077	13
	庄所局	0.0041	0.0053	0.0039	0.014	0.0068	14
	前島公民館	0.0059	0.0057	0.0081	0.030	0.012	15
東大阪市	東大阪市環境衛生検査センター局	0.011	0.013	0.011	0.013	0.012	16
	東大阪市六万寺局	0.0081	0.0091	0.026	0.012	0.014	17
豊中市	豊中市役所局	0.0067	0.0092	0.0046	0.0064	0.0067	18
	豊中市菰江公園局	0.0095	0.014	0.0066	0.0091	0.0098	19
枚方市	枚方市役所局	0.011	0.013	0.011	0.0098	0.011	20
八尾市	八尾市保健所局	0.019	0.020	0.013	0.030	0.021	21
寝屋川市	成田局	0.011	0.011	0.012	0.014	0.012	22
吹田市	吹田簡易裁判所局	0.014	0.024	0.011	0.021	0.018	23
	平均値	0.0095	0.017	0.010	0.018	0.016	



図7 令和5年度河川・海域常時監視地点図

国土交通省国土政策局「国土数値情報（行政区域データ）」をもとに大阪府が編集・加工

表4 令和5年度ダイオキシン類常時監視結果（河川水質・底質）
 （環境基準：水質 年間平均値 1 pg-TEQ/L 以下、底質 150 pg-TEQ/g 以下）

調査主体	水域名	河川名	調査地点名	水質測定値 (pg-TEQ/L)					底質測定値 (pg-TEQ/g)	図7 地点 番号	
				1回目	2回目	3回目	4回目	年平均値			
大阪府	神崎川	神崎川	新三国橋	0.55	0.12	—	—	0.34	4.1	1	
		左門殿川	辰巳橋	0.18	0.050	—	—	0.12	15	2	
		安威川	宮島橋	0.050	0.046	—	—	0.048	0.21	3	
		安威川	新京阪橋	0.19	0.13	—	—	0.16	0.46	4	
		茨木川	安威川合流直前	0.080	0.036	—	—	0.058	0.87	5	
		勝尾寺川	中河原橋	0.070	0.042	—	—	0.056	0.69	6	
	寝屋川	余野川	猪名川合流直前	0.088	0.039	—	—	0.064	0.21	7	
		寝屋川	住道大橋	0.42	0.32	—	—	0.37	5.4	8	
		恩智川	福栄橋下流100m	0.50	0.44	—	—	0.47	1.9	9	
		恩智川	住道新橋	0.36	0.60	—	—	0.48	5.1	10	
	大和川	天見川	新喜多橋	0.034	0.039	—	—	0.037	0.76	11	
		東除川	明治小橋	0.19	0.24	—	—	0.22	0.47	12	
	泉州諸河川	大津川	大津川橋	0.19	0.21	—	—	0.20	0.35	13	
		津田川	昭代橋	0.47	1.2	—	—	0.84	0.93	14	
		近木川	近木川橋	0.15	0.15	—	—	0.15	0.63	15	
		見出川	見出橋	0.25	0.20	—	—	0.23	0.98	16	
		佐野川	昭平橋	0.28	0.50	—	—	0.39	0.53	17	
		樫井川	樫井川橋	0.58	0.30	—	—	0.44	0.99	18	
		番川	田身輪橋	0.048	0.033	—	—	0.041	2.0	19	
		東川	一軒屋橋	0.11	0.056	—	—	0.083	1.6	20	
近畿地方 整備局	淀川	淀川	枚方大橋（中央）	0.084	—	—	—	0.084	0.22	21	
		淀川	菅原城北大橋	0.11	—	—	—	0.11	0.30	22	
		淀川	淀川大堰	0.12	—	—	—	0.12	0.92	23	
		淀川	伝法大橋	—	—	—	—	—	3.2	24	
		芥川	鷺打橋	0.078	—	—	—	0.078	0.28	25	
	神崎川	猪名川	利倉橋	0.071	—	—	—	0.071	0.38	26	
	大和川	大和川	河内橋	0.32	—	—	—	0.32	0.24	27	
		大和川	柏原堰堤（右）	0.29	—	—	—	0.29	0.46	28	
		大和川	遠里小野橋（中）	0.29	—	—	—	0.29	0.23	29	
		大和川	河口部（中）	0.28	—	—	—	0.28	0.50	30	
石川		石川橋	0.096	—	—	—	0.096	0.21	31		
大阪市	神崎川	神崎川	小松橋	0.10	0.16	—	—	0.13	0.61	32	
		神崎川	千船橋	0.10	0.085	—	—	0.093	22	33	
	大阪市内河川	大川	桜宮橋	0.14	—	—	—	0.14	13	34	
		堂島川	天神橋（右）	0.25	0.34	—	—	0.30	1.4	35	
		土佐堀川	天神橋（左）	0.20	0.24	—	—	0.22	2.1	36	
		東横堀川	本町橋	0.10	0.12	—	—	0.11	4.8	37	
		道頓堀川	大黒橋	0.58	0.10	0.33	0.97	0.50	47	38	
		六軒家川	春日出橋	0.26	—	—	—	0.26	100	39	
		正蓮寺川	北港大橋下流700m	0.094	—	—	—	0.094	29	40	
		安治川	天保山渡	0.088	—	—	—	0.088	31	41	
		尻無川	甚兵衛渡	0.14	—	—	—	0.14	69	42	
		木津川	千本松渡	0.15	—	—	—	0.15	75	43	
		木津川運河	船町渡	0.21	0.22	—	—	0.22	86	44	
		住吉川	住之江大橋下流1,100m	0.11	—	—	—	0.11	35	45	
		寝屋川	平野川	坡見橋	0.12	0.31	—	—	0.22	35	46
			平野川	南弁天橋	0.15	—	—	—	0.15	26	47
			平野川分水路	天王田大橋	0.077	—	—	—	0.077	7.3	48
			古川	徳栄橋【中茶屋橋】※	0.46	0.16	0.95	0.66	0.56	22	49
	寝屋川		今津橋	0.42	0.20	0.73	0.77	0.53	4.8	50	
	寝屋川		京橋	0.25	0.24	—	—	0.25	3.0	51	
堺市	大和川	第二寝屋川	下城見橋	0.10	0.41	—	—	0.26	11	52	
		西除川	大和川合流直前	0.18	—	—	—	0.18	0.70	53	
	東除川	新大阪橋	0.10	—	—	—	0.10	0.32	54		
	泉州諸河川	内川	堅川橋	0.072	—	—	—	0.072	100	55	
		石津川	石津川橋	0.24	—	—	—	0.24	0.35	56	
和田川		小野々井橋	0.13	—	—	—	0.13	0.36	57		
高槻市	淀川	檜尾川	榎手社神社	0.074	—	—	—	0.074	0.41	58	
	神崎川	番田井路	玉川橋	0.12	—	—	—	0.12	1.3	59	
東大阪市	寝屋川	恩智川	三池橋	2.6	0.42	—	—	* 1.5	12	60	
		第二寝屋川	新金吾郎橋	0.22	0.071	—	—	0.15	2.5	61	
豊中市	神崎川	千里川	猪名川合流直前	0.13	0.074	—	—	0.10	0.40	62	
枚方市	淀川	船橋川	新登橋上流	0.11	0.13	—	—	0.12	0.48	63	
		穂谷川	淀川合流直前	0.090	0.10	—	—	0.10	0.25	64	
		天野川	淀川合流直前	0.095	0.13	—	—	0.11	0.32	65	
八尾市	寝屋川	玉串川	JAグリーン大阪前	0.93	0.91	—	—	0.92	—	66	
		平野川	東竹潤橋	0.73	0.15	—	—	0.44	120	67	
寝屋川市	寝屋川	寝屋川	堂島橋	0.11	0.12	—	—	0.12	4.8	68	
吹田市	神崎川	正雀川	安威川合流直前	0.14	—	—	—	0.14	1.4	69	
平均値								0.23	14		

(注) ・※の【 】内は、底質を採取した地点を示す。
 ・底質の年間測定回数は1回である。
 ・*は環境基準超過を示す。
 ・近畿地方整備局（国土交通省）においては、大阪府及び関係機関と協議をして、調査測定を実施している。

表5 令和5年度ダイオキシン類常時監視結果（海域水質・底質）
 （環境基準：水質 年間平均値 1 pg-TEQ/L 以下、底質 150 pg-TEQ/g 以下）

調査主体	水域名	測定地点名	水質測定値 (pg-TEQ/L)	底質測定値 (pg-TEQ/g)	図7 地点 番号
大阪府	大阪湾(1)	南港西 (C-3)	0.041	16	1
	大阪湾(2)	泉大津沖 (B-4)	0.031	12	2
	大阪湾(3)	りんくう沖 (A-3)	0.031	9.2	3
	大阪湾(4)	尾崎沖 (A-7)	0.034	7.7	4
	大阪湾(5)	観音崎沖 (A-11)	0.031	1.1	5
大阪市	大阪湾(1)	南港 (0-2)	0.065	3.2	6
		木津川河口中央 (0-6)	0.094	130	7
堺市	大阪湾(1)	堺7-3区沖 (S-1)	0.033	15	8
平均値			0.045	24	

(注) 年間測定回数は1回である。

表6 令和5年度ダイオキシン類常時監視結果（地下水質）
 （環境基準：年間平均値 1 pg-TEQ/L 以下）

調査主体	所在地	測定値 (pg-TEQ/L)
大阪府	豊能町切畑	0.029
	四條畷市下田原	0.030
	千早赤阪村大字東阪	0.030
	泉大津市東助松町	0.030
	貝塚市三ツ松	0.044
	岬町深日	0.044
大阪市	大阪市大正区北村	0.048
堺市	西区鳳北町	0.039
	堺区北清水町	0.027
高槻市	高槻市幸町	0.15
東大阪市	東大阪市永和	0.026
	東大阪市松原南	0.026
豊中市	豊中市長興寺北	0.063
枚方市	枚方市田口	0.062
八尾市	八尾市太子堂	0.064
	八尾市恩智北町	0.068
寝屋川市	寝屋川市川勝町	0.070
	寝屋川市池田	0.073
吹田市	吹田市千里万博公園	0.058
	吹田市津雲台	0.058
平均値		0.052

(注) 年間測定回数は1回である。

表7 令和5年度ダイオキシン類常時監視結果（土壌一般環境調査）

（環境基準：1,000 pg-TEQ/g 以下）

調査主体	測定地点		測定値 (pg-TEQ/g)
	所在地	地点名	
大阪府	豊能町新光風台	新光風台しらかば公園グラウンド	3.4
	四條畷市北出町	四條畷市立市民活動センター	0.11
	千早赤阪村水分	千早赤阪村立赤阪小学校	0.042
	泉大津市東助松町	泉大津市立上條小学校	1.3
	貝塚市三ツ松	貝塚市立永寿小学校	0.11
	岬町多奈川谷川	岬町立多奈川小学校	0.12
柏原市	柏原市古町	古町緑地広場	0.32
大阪市	大阪市福島区海老江	大阪市立海老江西小学校	1.6
	大阪市生野区巽西	巽公園	1.2
堺市	堺市北区野遠町	中村町公園	0.091
	堺市北区金岡町	金岡町つぐみ公園	8.4
	堺市美原区丹上	丹上公園	0.29
	堺市南区赤坂台	赤坂公園	0.11
高槻市	高槻市安満西の町	高槻市立磐手小学校	0.040
東大阪市	東大阪市川俣	川俣公園	3.4
	東大阪市上四条町	大池公園	11
豊中市	豊中市新千里南町	千里南町公園	0.034
枚方市	枚方市磯島北町	枚方市立磯島小学校	0.72
八尾市	八尾市南太子堂	八尾市立龍華中学校	0.013
	八尾市上之島町北	八尾市立上之島小学校	0.049
寝屋川市	寝屋川市池田	池田1号公園	1.8
	寝屋川市初町	初本町公園	1.1
	寝屋川市高柳栄町	高柳栄町公園	1.8
吹田市	吹田市出口町	片山公園	0.0096
平均値			1.5

（注）・年間測定回数は1回である。

・柏原市においては、大阪府と協議して調査測定を実施している。

2 追跡調査結果

令和5年度に地方独立行政法人大阪府立環境農林水産総合研究所等と連携して、過去の常時監視で環境基準を超過した5河川(三箇牧水路、左門殿川、寝屋川、恩智川、玉串川)で追跡調査を実施しました。その結果は、次のとおりです。

(1) 神崎川水域における調査結果

① 三箇牧水路

常時監視地点である神崎川「新三国橋」については、調査を開始した平成12年度以降、水質環境基準の超過がみられたことから、平成13年度から原因究明のための追跡調査を実施し、平成17年度に神崎川水域・番田水路上流の三箇牧水路に、高濃度のダイオキシン類を含有する底質の存在が判明しました。そこで、平成18年度に「鳥飼北部排水機場」より上流の高濃度区間において、底質除去工事(工事期間：平成18年10月～平成19年3月)を実施しました。

平成19年度からは、底質除去工事後の経過を監視するため水質調査を行っています。

【調査内容】

底質除去工事後の経過を監視するために、5地点(西面橋、地点6、9、13、番田水路(鶴野橋))で水質を、3地点(地点6、9、13)で底質の調査を実施しました(図8)。

【調査結果】

水質については、地点13(年平均1.2 pg-TEQ/L)で環境基準を超過したものの、その他の地点については環境基準の超過はありませんでした(表8)。底質については、地点13(210 pg-TEQ/g)で環境基準を超過したものの、対策前の濃度に比べ低い値であり、対策後の改善が確認されています。地点6では、対策後、平成24年度以外は基準以下であり、改善が確認されています(表9)。

【今後の対応】

三箇牧水路については、底質除去の対策が講じられていますが、追跡調査では、水質及び底質の環境基準を超過する場合もあったことから、今後も同地点において水質・底質のモニタリングを行い、対策後の経過を監視するとともに、汚染の再発防止のため周辺事業所の指導を継続します。

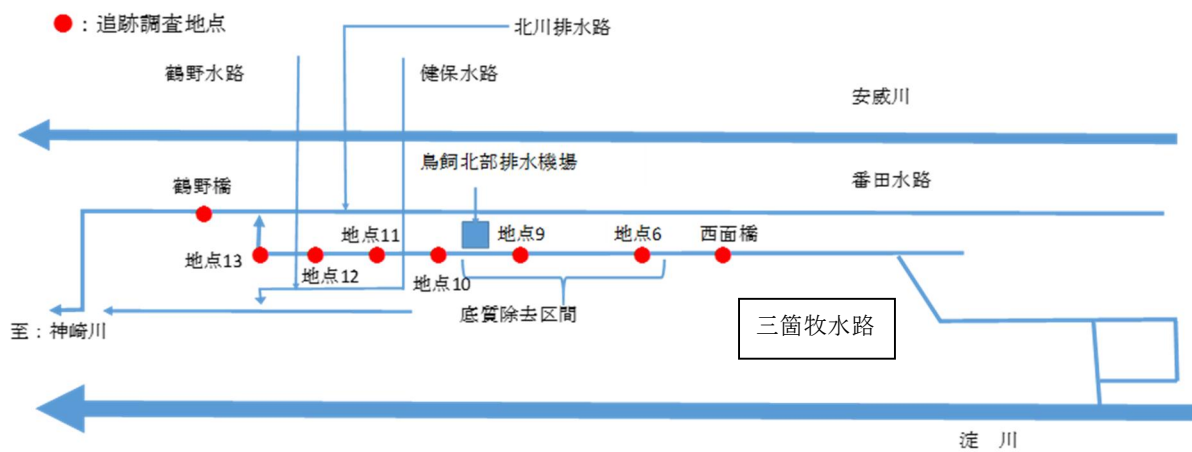
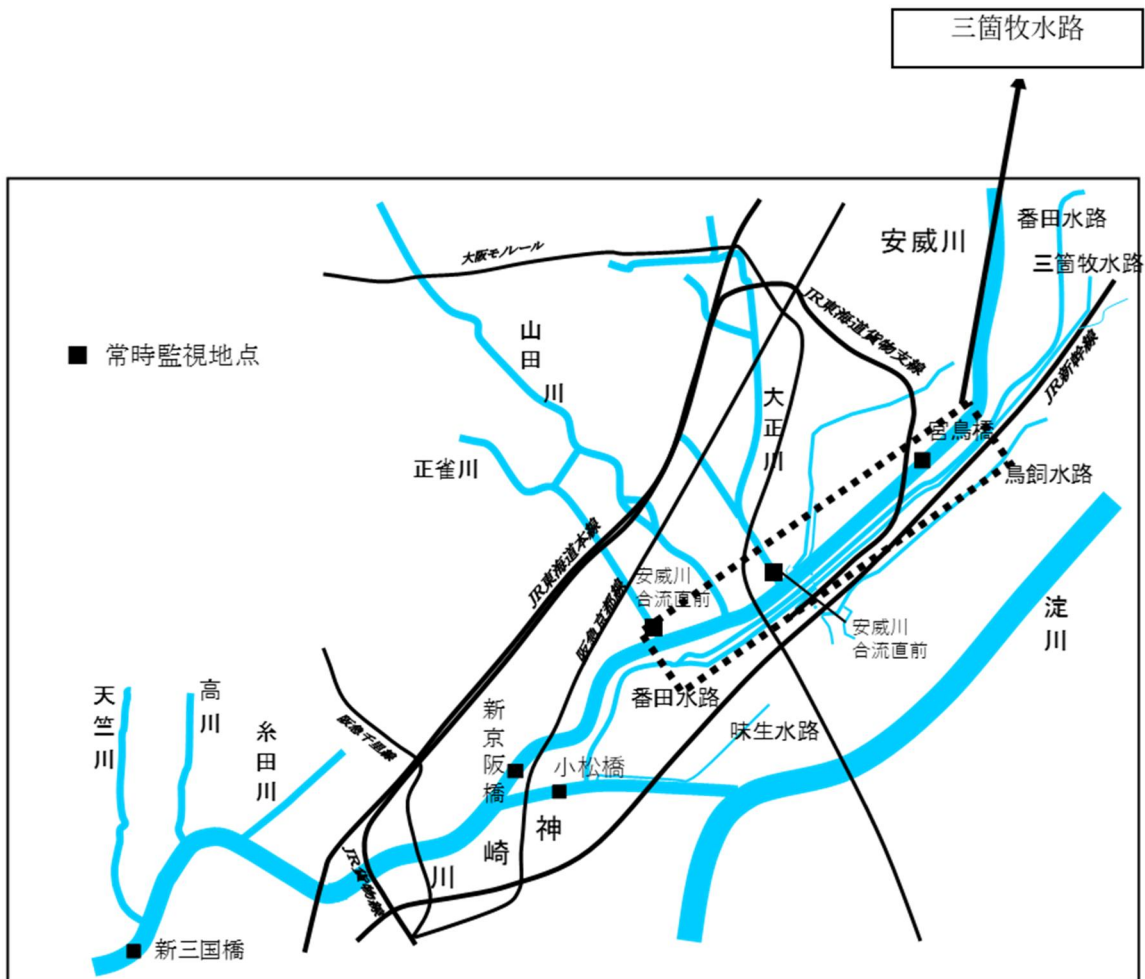


図8 三箇牧水路底質除去区間及び追跡調査地点図

表8 底質除去工事前後の三箇牧水路水質

河川名		ダイオキシン類水質濃度 (pg-TEQ/L)							番田水路
		三箇牧水路							
調査地点		西面橋	地点6	地点9	地点10	地点11	地点12	地点13	鶴野橋
対策前	H17. 1. 13	-	-	-	55	-	-	-	9.3
	H17. 7. 20	2.8	71	-	40	-	-	-	3.2
	H17. 11. 15	0.65	5.2	-	58	-	-	-	1.2
平成19年度	H19. 7. 3	0.75	1.7	75	-	-	-	8.0	1.2
	H19. 10. 23	0.15	1.1	0.78	-	-	-	1.7	2.0
	H20. 1. 11	0.47	1.2	1.7	-	-	-	5.9	0.41
平成20年度	H20. 9. 1	1.1	1.6	1.4	-	-	-	0.90	0.93
	H21. 1. 28	0.19	0.25	0.60	-	-	-	0.63	(※1)
平成21年度	H21. 9. 25	0.60	1.2	0.61	-	-	-	1.1	0.81
	(※2) H22. 1. 28	2.7	1.8	2.1	-	-	-	3.5	(※3)
平成22年度	H22. 9. 7	2.6	3.2	0.88	-	-	-	3.3	0.66
	H23. 1. 25	0.42	0.37	0.51	-	-	-	1.0	0.31
平成23年度	H23. 9. 13	4.6	3.4	0.46	-	-	-	0.52	0.99
	H24. 1. 26	4.3	0.28	0.27	-	-	-	0.34	0.16
	年平均値	4.5	1.8	0.37	-	-	-	0.43	0.58
平成24年度	H24. 5. 21	6.3	-	-	-	-	-	-	-
	H24. 7. 27	0.18	-	-	-	-	-	-	-
	H24. 9. 28	0.31	2.0	1.2	-	-	-	1.6	2.2
	H25. 1. 28	0.20	-	-	-	-	-	-	-
	H25. 1. 29	0.15	0.24	0.41	-	-	-	0.25	0.61
年平均値	1.4	1.1	0.81	-	-	-	0.93	1.4	
平成25年度	H25. 11. 6	0.14	3.0	1.8	-	-	-	2.9	0.56
	H26. 1. 15	0.11	0.68	0.37	-	-	-	0.31	0.29
	年平均値	0.13	1.8	1.1	-	-	-	1.6	0.43
平成26年度	H26. 9. 29	0.25	1.5	1.6	-	-	-	4.8	0.74
	H26. 9. 30	-	-	-	1.5	1.4	5.6	-	-
	H27. 2. 10	0.17	0.99	0.43	0.81	1.9	0.97	1.1	0.16
	年平均値	0.21	1.2	1.0	1.2	1.7	3.3	3.0	0.45
平成27年度	H27. 10. 9	0.65	2.0	1.4	-	-	0.97	0.98	0.36
	H28. 1. 15	0.34	0.48	0.29	-	-	0.32	0.23	0.23
	年平均値	0.50	1.2	0.85	-	-	0.65	0.61	0.30
平成28年度	H28. 7. 4	1.8	6.3	2.9	-	-	2.1	2.0	1.2
	H29. 1. 26	0.21	0.51	0.28	-	-	0.85	0.85	0.18
	年平均値	1.0	3.4	1.6	-	-	1.5	1.4	0.69
平成29年度	H29. 11. 22	0.52	0.16	0.47	-	-	0.14	0.16	-
	H29. 11. 28	-	-	-	-	-	-	-	0.24
	H30. 1. 10	0.81	0.59	1.3	-	-	1.6	1.3	0.16
年平均値	0.67	0.38	0.89	-	-	0.87	0.73	0.20	
平成30年度	H30. 10. 17	0.069	1.1	1.7	-	-	0.49	1.0	0.43
	H31. 1. 9	0.10	0.80	0.91	-	-	0.58	0.78	0.25
	年平均値	0.085	0.95	1.3	-	-	0.54	0.89	0.34
令和元年度	R1. 11. 7	0.096	0.63	1.1	-	-	0.88	0.72	0.16
	R2. 1. 14	0.31	0.97	1.5	-	-	0.65	0.77	0.21
年平均値	0.20	0.80	1.3	-	-	0.77	0.75	0.19	
令和2年度	R2. 10. 22	0.18	0.53	0.61	-	-	0.51	1.9	0.080
	R3. 1. 7	0.43	2.0	0.37	-	-	1.1	2.3	0.26
	年平均値	0.31	1.3	0.49	-	-	0.81	2.1	0.17
令和3年度	R3. 10. 20	0.27	0.67	1.1	-	-	-	0.75	0.14
	R4. 1. 20	0.25	0.37	0.5	-	-	-	5.2	0.39
	年平均値	0.26	0.52	0.8	-	-	-	3.0	0.27
令和4年度	R4. 10. 26	0.12	0.35	1.2	-	-	-	1.8	0.33
	R5. 1. 25	0.070	2.8	0.31	-	-	-	0.49	0.11
	年平均値	0.010	1.6	0.76	-	-	-	1.1	0.22
令和5年度	R5. 10. 24	0.040	1.2	0.62	-	-	-	1.2	0.18
	R6. 1. 23	0.23	0.75	0.29	-	-	-	1.2	1.2
	年平均値	0.14	0.98	0.46	-	-	-	1.2	0.69

追跡調査の分析機関は大阪府立環境農林水産総合研究所 (H24以降)。太字は環境基準値超過を示す。

※1 河川工事により河川水無し。

※2 降雨時及び降雨後に採水したため、水質濃度が高かったものと考えられる。

※3 降雨による濁度で三箇牧水路と比較・検討できないため、採水を中止。

表9 鳥飼北部排水機場上下流部の底質

河川名	調査地点	ダイオキシン類底質濃度 (pg-TEQ/g)											
		対策前		対策後									
		H17.11.15	H18.6.29	H19.7.3	H19.10.17 (下層)	H20.9.1	H21.9.25	H22.9.7	H23.9.13	H24.7.27	H24.9.28	H25.11.6	
三箇牧水路	暗渠入口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-
	西面橋	13	-	-	-	-	16	-	-	26	-	-	
	地点6	11,000	15,000	-	-	120	79	58	72	-	240	88	
	地点9	3,100	4,800	-	-	1,000	340	340	430	-	220	220	
	地点10	-	1,800	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	地点11	-	-	2,100	20	-	-	-	-	-	-	-	
	地点12	-	-	1,200	25	-	-	-	-	-	-	-	
地点13	-	-	590	4.4	-	-	-	-	-	-	-		

河川名	調査地点	ダイオキシン類底質濃度 (pg-TEQ/g)										
		対策後										
		H26.9.29	H27.10.16	H28.6.24	H29.11.22	H30.10.17	R1.11.7	R2.10.22	R3.10.20	R4.10.26	R5.1.25	R5.10.24
三箇牧水路	暗渠入口	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	西面橋	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地点6	130	110	110	140	79	88	69	71	100	-	82
	地点9	290	260	270	180	220	270	250	510	160	230	87
	地点10	140	270	270	120	170	150	160	-	-	-	-
	地点11	630	370	660	150	180	250	190	-	-	-	-
	地点12	290	220	280	130	450	330	190	-	-	-	-
地点13	210	120	130	150	210	230	110	81	160	-	210	

追跡調査の分析機関は大阪府立環境農林水産総合研究所 (H24以降)。太字は環境基準値超過を示す。

※H19.10.17 下層：水路底面より10-19cm下部の底質で厚み30cm程度の試料を分析（下層は粘土層であり、表層とは外観が明らかに異なる）

※H25.11.13 上層の試料を分析

②左門殿川

常時監視地点である左門殿川「辰巳橋」の底質は、調査を開始した平成12年度以降において、8回環境基準を超過しています。平成28年度以降は環境基準以下であったものの、令和3年度の常時監視にて底質が370 pg-TEQ/gとなり再び超過しました（表10）。なお、水質については、環境基準を達成しています。

【調査内容】

汚染の状況を把握するため、「辰巳橋」の流心において、底質の追跡調査を実施しました（図9、10）。

【調査結果】

常時監視及び追跡調査とも底質の環境基準を下回りました（表10）。

【今後の対応】

年度ごとの変動を調査するため、「辰巳橋」の流心で底質の追跡調査を実施します。

表 10 底質調査結果一覧

地点	地点位置	H27. 7 常監	H28. 1	H28. 4	H28. 7 常監	H29. 7 常監	H29. 8	R3. 8 常監	R4. 7 常監	R4. 10	R5. 7 常監	R5. 10
①	下流 100mの流心地点	—	53	—	—	—	—	—	—	—	—	—
②	下流 50mの流心地点	—	31	—	—	—	—	—	—	—	—	—
③	下流 50mの流心より 20m 左岸寄	—	32	—	—	—	—	—	—	—	—	—
④	橋梁下流端の流心地点	1, 100	87	72	180	71	49	370	81	22	15	15
⑤	橋梁下流端の流心より 5m 左岸寄	—	140	46	—	—	—	—	—	39	—	—
⑥	橋梁下流端の流心より 20m 左岸寄	—	71	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑦	上流 50mの流心地点	—	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑧	上流 50mの流心より 20m 左岸寄	—	43	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑨	上流 100mの流心地点	—	21	—	—	—	—	—	—	—	—	—
⑩	橋梁下流端の流心より 5m 右岸寄	—	—	46	—	—	—	—	—	30	—	—

追跡調査の分析機関は大阪府立環境農林水産総合研究所。太字は環境基準値超過を示す。

(2) 寝屋川水域における調査結果

① 寝屋川

常時監視地点である寝屋川「住道大橋」は、平成 12 年度から常時監視を実施しており、平成 24 年度以降は環境基準の超過はありませんでしたが、令和 2 年度の常時監視（年平均 1.1 pg-TEQ/L）で再び超過しました。これまで上流域の調査を実施してきましたが、原因の特定には至っていません。

【調査内容】

令和 2 年度の常時監視地点で水質の環境基準を超過した「住道大橋」とその上流側に位置する「会所橋」、「大東市役所前」において水質及び底質の調査を行いました（図 11）。

【調査結果】

常時監視及び追跡調査とも水質及び底質の環境基準を下回りました（表 11）。

【今後の対応】

引き続き常時監視により経過の監視を行います。

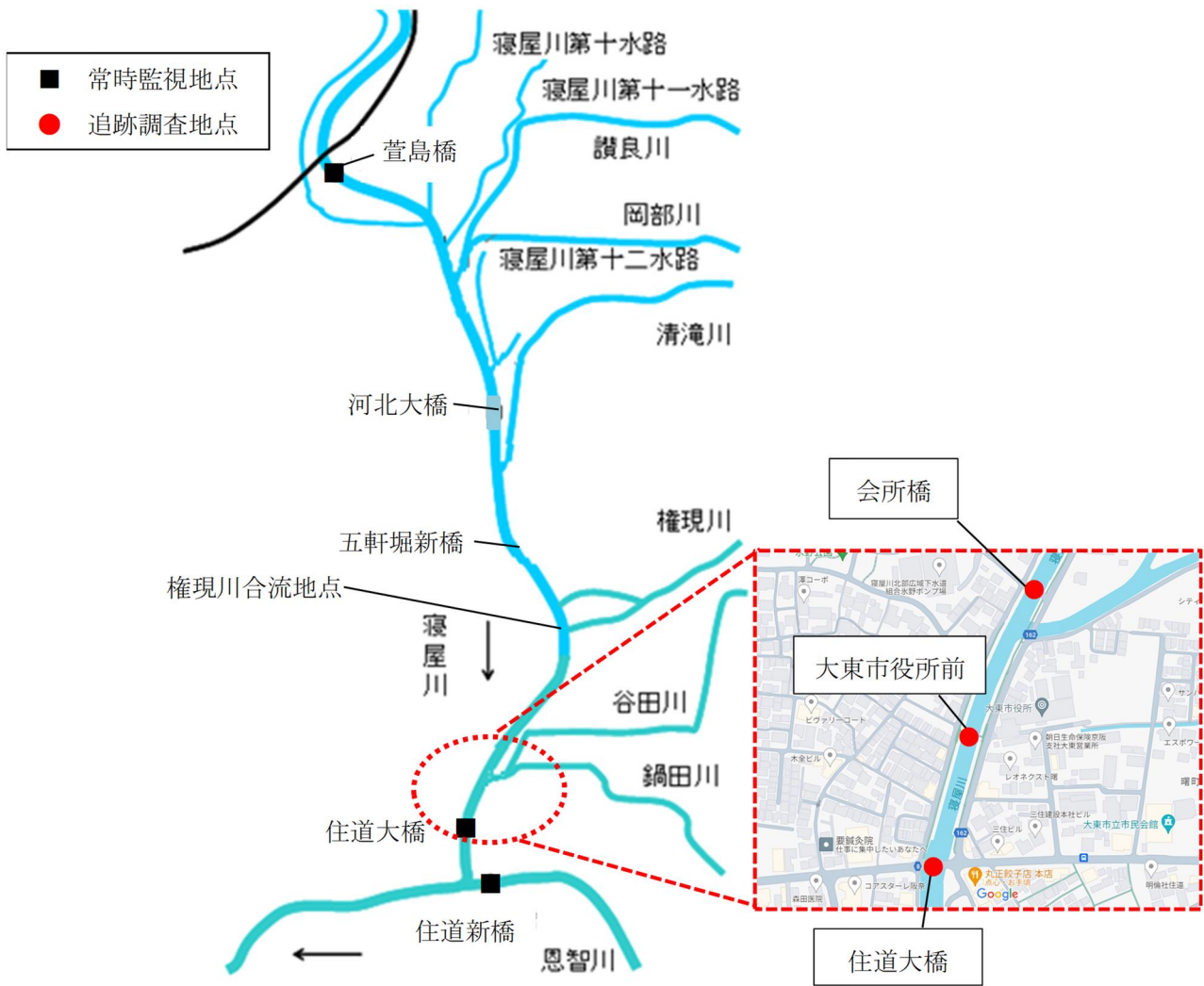


図 11 寝屋川追跡調査地点図

表 11 寝屋川追跡調査結果

河川名	調査地点	年度	ダイオキシン類 水質濃度 (pg-TEQ/L)				
			春	夏	秋	冬	平均値
寝屋川	河北大橋	H16	-	-	0.32	-	0.32
		H23	-	0.57	1.0	-	0.79
	五軒堀新橋	H16	-	-	0.50	-	0.50
		H24	-	0.45	-	-	0.45
	西村橋	H16	-	-	0.36	-	0.36
		R3	-	0.34	0.38	-	0.36
		R4	-	1.6	0.94	-	1.3
	鍋田側道橋	H16	-	-	0.91	-	0.91
		H25	-	0.96	0.15	-	0.56
		R3	-	1.0	1.9	-	1.5
		R4	-	1.1	0.79	-	0.95
	深野橋	R4	-	-	0.74	-	0.74
	鍋田川上流地点	R4	-	0.60	0.39	-	0.50
	会所橋	R5	-	0.21	-	0.61	0.41
	大東市役所前	R5	-	0.22	-	0.43	0.33
	住道大橋	H16	-	★ 1.9	-	-	1.9
			-	-	0.50	-	0.50
		H17	-	★ 0.71	★ 0.69	-	0.70
		H18	-	★ 1.7	★ 0.55	-	1.1
			0.87	-	-	0.52	0.70
		H19	-	★ 1.7	★ 0.96	-	1.3
		H20	-	★ 0.47	★ 0.59	-	0.53
		H21	-	★ 0.66	★ 0.79	-	0.73
		H22	-	★ 0.91	★ 1.4	-	1.2
		H23	-	★ 1.3	★ 2.2	-	1.8
		H24	-	★ 0.76	★ 0.52	-	0.64
		H25	-	★ 0.60	★ 0.28	-	0.44
			-	0.18	-	-	0.18
		H26	-	★ 0.24	★ 0.50	-	0.37
		H27	-	★ 0.30	★ 0.44	-	0.37
		H28	-	★ 0.43	★ 0.16	-	0.30
		H29	-	★ 0.34	★ 0.47	-	0.41
H30		-	★ 0.20	★ 0.47	-	0.34	
R1		-	★ 1.3	★ 0.41	-	0.86	
R2		-	★ 1.7	★ 0.58	-	1.1	
R3	-	★ 0.24	★ 0.32	-	0.28		
R4	-	★ 0.53	★ 0.24	-	0.38		
R5	-	★ 0.42	★ 0.32	-	0.37		
	-	0.26	-	0.87	0.57		

★は常時監視を示す。

追跡調査の分析機関は大阪府立環境農林水産総合研究所（H24以降）。太字は環境基準値超過を示す。

② 恩智川

常時監視地点である恩智川「住道新橋」は、平成12年度から常時監視を実施しており、平成28年度以降は環境基準以下でしたが、令和4年度の常時監視（年平均1.6 pg-TEQ/L）で再び超過しました。これまでに東大阪市等と連携し上流域の調査や季節変動調査を実施しましたが、原因の特定には至っていません。

【調査内容】

令和4年度の常時監視地点で水質の環境基準を超過した「住道新橋」の上流側に位置する「御供田新橋」において水質の調査を行いました（図12）。

【調査結果】

追跡調査では水質の環境基準を下回りましたが、「三池橋」における常時監視では再び環境基準を超過しました（表12）。

【今後の対応】

引き続き常時監視により経過の監視を行います。

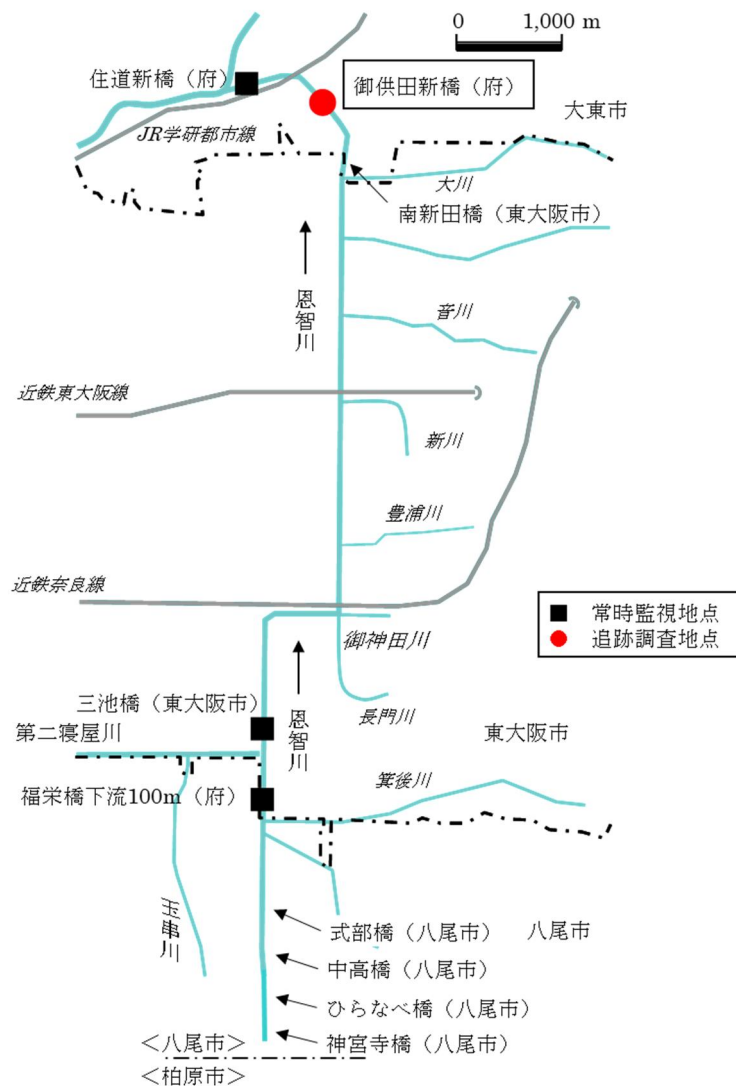


図12 恩智川追跡調査地点図

表 12 恩智川追跡調査結果

河川名	調査地点	年度	ダイオキシン類 水質濃度 (pg-TEQ/L)				
			春	夏	秋	冬	平均値
恩智川	神宮寺橋	H30	-	-	-	□ 0.14	0.14
		R1	-	-	□ 0.36	-	0.36
		R2	-	-	□ 0.40	-	0.40
		R3	-	-	□ 0.26	-	0.26
	ひらなべ橋	R2	-	-	□ 0.26	-	0.26
		R3	-	-	□ 0.29	-	0.29
	中高橋流入水路	R2	-	-	□ 0.16	-	0.16
	中高橋	H27	-	0.98	0.36	-	0.67
		H28	-	0.78	0.27	-	0.53
		H29	-	0.53	0.30	-	0.42
		H30	-	-	-	□ 0.41	0.41
		R1	-	-	□ 2.7	-	2.7
		R2	-	-	□ 0.27	-	0.27
		R3	-	-	□ 0.22	-	0.22
		式部橋流入水路	H29	-	0.28	0.18	-
	式部橋	H27	-	0.59	0.49	-	0.54
		H28	-	3.6	0.32	-	2.0
		H29	-	0.44	0.33	-	0.39
		H30	-	-	-	□ 0.37	0.37
		R1	-	-	□ 1.1	-	1.1
		R3	-	-	□ 0.21	-	0.21
	薬師橋	H26	-	1.4	0.24	-	0.82
		H27	-	0.55	0.53	-	0.54
		H28	-	0.68	0.23	-	0.46
	福栄橋 下流 100m	H23	-	★ 1.3	★ 0.74	-	1.0
		H24	-	★ 0.71	★ 0.64	-	0.68
		H25	-	★ 1.5	★ 0.74	-	1.1
		H26	-	★ 2.0	★ 0.45	-	1.2
		H27	-	★ 0.55	★ 0.62	-	0.59
		H28	-	★ 0.59	★ 0.33	-	0.46
		H29	-	★ 0.49	★ 0.27	-	0.38
		H30	-	★ 0.60	★ 0.98	-	0.79
		R1	-	★ 0.61	★ 0.48	-	0.55
R2		-	★ 0.44	★ 0.47	-	0.46	
R3		-	★ 0.51	★ 0.39	-	0.45	
R4		-	★ 0.83	★ 0.24	-	0.54	
R5		-	★ 0.50	★ 0.44	-	0.47	

恩智川	三池橋	H23	-	★■ 0.38	-	★■ 0.87	0.63	
		H24	-	★■ 0.87	★■ 1.3	★■ 0.57	0.91	
		H25	-	★■ 1.3	-	★■ 1.3	1.3	
		H26	-	★■ 2.0	-	★■ 0.30	1.2	
		H27	-	★■ 0.70	-	★■ 0.97	0.84	
		H28	-	★■ 0.59	-	★■ 0.72	0.66	
		H29	-	★■ 0.97	-	★■ 0.30	0.64	
		H30	-	★■ 0.29	-	★■ 0.68	0.49	
		R1	-	★■ 0.83	-	★■ 0.35	0.59	
		R2	-	★■ 0.50	-	★■ 0.96	0.73	
		R3	-	★■ 0.72	-	★■ 0.81	0.77	
		R4	-	★■ 0.49	-	★■ 2.0	1.2	
		R5	-	★■ 2.6	-	★■ 0.42	1.5	
	南新田橋	H23	-	1.0	1.0	-	1.0	
			-	■ 0.52	-	■ 0.13	0.33	
		H24	-	1.8	0.70	-	1.3	
		H25	-	■ 2.5	-	■ 0.41	1.5	
			-	-	0.39	-	0.39	
		H26	-	■ 0.41	-	■ 1.5	0.96	
			-	-	0.40	-	0.40	
		H27	-	■ 1.2	-	■ 0.76	0.98	
			-	-	0.56	-	0.56	
		H28	-	■ 2.0	-	■ 1.4	1.7	
			-	-	0.53	-	0.53	
		H29	-	■ 0.49	-	■ 0.38	0.44	
			-	-	0.86	-	0.86	
		H30	-	■ 0.53	-	■ 1.8*	1.2	
			-	-	0.75	-	0.75	
		R1	-	■ 1.1	-	■ 0.24	0.67	
			-	-	0.59	0.89	0.70	
		R2	-	■ 0.22	-	■ 0.55	0.39	
		R3	-	■ 0.69	-	■ 0.62	0.66	
		御供田新橋	R5	-	-	0.75	0.52	0.64
		住道新橋	H18	3.0	★ 1.2	★ 0.48	1.2	1.5
	H19		1.2	★ 1.2	★ 1.5	1.1	1.3	
	H20		-	★ 0.82	★ 1.3	2.0	1.2	
			-	0.70	-	-	0.70	
	H21		0.82	★ 1.3	★ 0.70	1.0	0.96	
	H22		1.3	★ 1.3	★ 1.1	1.4	1.3	
	H23		-	★ 0.57	★ 0.92	-	0.75	
	H24		-	★ 0.59	★ 0.66	-	0.63	
	H25		-	★ 1.4	★ 0.88	-	1.1	
	H26		-	★ 0.55	★ 1.2	-	0.88	
	H27		-	★ 0.45	★ 0.88	-	0.67	
	H28		-	★ 1.1	★ 1.1	-	1.1	
H29	-		★ 0.44	★ 0.90	-	0.67		
H30	-		★ 0.59	★ 0.82	-	0.71		
R1	-		★ 0.50	★ 0.89	-	0.70		
R2	-		★ 0.51	★ 0.69	-	0.60		
R3	-		★ 0.56	★ 1.1	-	0.83		
R4	-		★ 0.48	★ 2.7	-	1.6		
R5	-	★ 0.36	★ 0.60	-	0.48			

★は常時監視を示す。
 ■は東大阪市調査分を示す。
 □は八尾市調査分を示す。

府の追跡調査の分析機関は大阪府立環境農林水産総合研究所(H24以降)。太字は環境基準値超過を示す。
 * 平成30年度南新田橋(東大阪市)は、工事のため上流の河内屋南橋で採水。

③ 玉串川

常時監視地点である玉串川「JA グリーン大阪前」については、調査を開始した平成 15 年度から平成 20 年度まで毎年水質の環境基準を超過しており、平成 25 年度から 2 年連続で水質の環境基準を達成したため追跡調査を終了していましたが、その後、令和元年度に再び環境基準値を超過し、追跡調査を実施したところ、令和 2 年度から 2 年連続で水質の環境基準を達成したため追跡調査を終了していましたが、令和 4 年度の常時監視（年平均 1.2 pg-TEQ/L）で再び環境基準を超過しました。

これまでに八尾市と連携して上流域の追跡調査を実施しましたが、原因の特定には至っていません。

【調査内容】

令和 4 年度の常時監視地点で水質の環境基準を超過した「JA グリーン大阪前」とその上流側に位置する「堂島北橋」、「曙川東小学校前」、「曙橋」、「山本高校前」において水質の調査を行いました（図 13）。

【調査結果】

常時監視及び追跡調査とも水質及び底質の環境基準を下回りました（表 13）。

【今後の対応】

引き続き常時監視により経過の監視を行います。

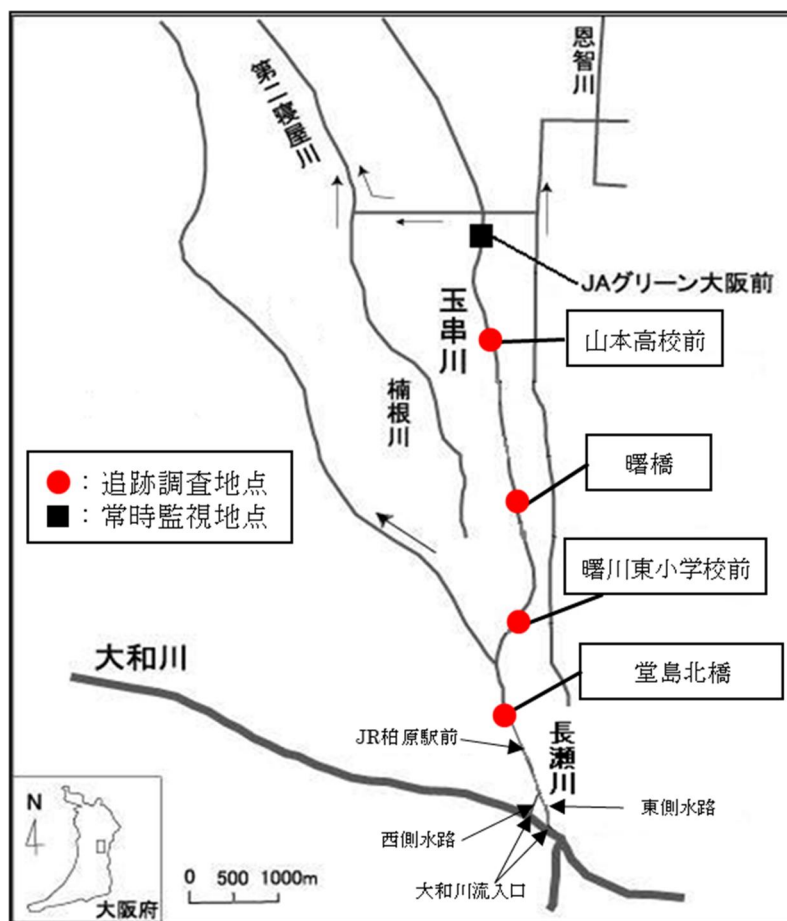


図 13 玉串川追跡調査地点図

表 13 玉串川追跡調査結果

河川名	調査地点	年度	ダイオキシン類 水質濃度 (pg-TEQ/L)			
			夏	秋	冬	平均値
長瀬川	西側水路	R2	-	0.37	0.33	0.35
		R3	-	0.40	0.20	0.30
	東側水路	R2	-	0.41	0.34	0.38
		R3	-	0.40	0.21	0.31
	堂島北橋	R2	-	0.38	0.37	0.38
		R3	-	0.42	0.20	0.31
		R5	-	0.34	0.37	0.36
	JR柏原駅前	H19	0.94	0.49	-	0.72
		H20	1.7	1.1	-	1.4
		H21	0.69	0.50	-	0.60
		H22	0.63	0.57	-	0.60
		H23	0.97	0.33	-	0.65
		H24	0.46	0.34	-	0.40
		H25	0.71	0.39	-	0.55
H26		0.65	0.14	-	0.40	
玉串川	曙川東 小学校前	H24	1.0	2.8	-	1.9
		H25	0.82	0.49	-	0.66
		H26	0.86	0.21	-	0.54
		R1	-	■ 1.3	-	1.3
		R2	-	■ 0.35	-	0.35
		R3	-	■ 0.40	-	0.40
		R5	-	■ 0.56	-	0.56
	曙橋	R5	-	■ 0.64	-	0.64
	山本高校前	R5	-	■ 0.93	-	0.93
	JAグリーン 大阪前	H19	★ 2.8	★ 0.95	-	1.9
		H20	★ 2.1	★ 0.86	-	1.5
		H21	★ 0.89	★ 0.65	-	0.77
		H22	★ 1.4	★ 1.1	-	1.3
		H23	★ 1.1	★ 0.56	-	0.83
		H24	★ 0.63	★ 0.47	-	0.55
		H25	★ 1.1	★ 0.66	-	0.88
		H26	★ 1.2	★ 0.60	-	0.90
		H30	★ ■ 0.99	-	★ ■ 0.63	0.81
R1		★ ■ 6.5	-	★ ■ 0.49	3.5	
		-	■ 0.65	-	0.65	
R2	★ ■ 0.84	-	★ ■ 0.36	0.60		
	-	■ 0.40	-	0.40		
R3	★ ■ 0.47	-	★ ■ 0.28	0.38		
	-	■ 0.62	-	0.62		
R4	★ ■ 1.9	-	★ ■ 0.44	1.2		
R5	★ ■ 0.93	-	★ ■ 0.91	0.92		
	-	■ 0.84	-	0.84		

★は常時監視を示す。

■は八尾市調査分を示す。

府の追跡調査の分析機関は大阪府立環境農林水産総合研究所(H24以降)。太字は環境基準値超過を示す。